

2024 もてぎカートレース 2024 MOTEGI KART RACE

2024年7月12日

大会事務局

ブルテン 2024-10

対象クラス：全クラス

ニュートラリゼーションに関する記述の追加

特別規則書 第29条「レースの中断」を「レースの中断とニュートラリゼーション(中立化)」と変更し、ニュートラリゼーションに関する記述を下記のとおり追加する。

※追記箇所は太字・下線で表記。

第29条 レースの中断とニュートラリゼーション(中立化)

- 1)「JAF 国内カート競技規則」に従う。
- 2)赤旗中断の場合、競技長の指示があるまでピットクレー(はグリッドの介入および車両の整備を行ってはならない。
- 3)ピットロードで作業中の車両に対しても、上記2)が適用されグリッド上に戻れない車両については、ピットスタートとなり最後尾につくものとする。
- 4)グリッドでの燃料の補給は禁止される。

5)予選ヒートまたは決勝ヒートのニュートラリゼーション(中立化)

- ①**競技長は予選ヒートまたは決勝ヒートのニュートラリゼーションを決定することができる。この手順は、コース上に妨害があった場合、またはドライバーやオフィシャルに緊急の健康被害があり、予選ヒートや決勝ヒートを止める判断をするには至らない状況においてのみ用いられる。**
- ②**予選ヒートまたは決勝ヒートのニュートラリゼーションの指示が出されたら、全ての監視ポストで単独の黄旗が振られ、「SLOW ボード」(黄色地に黒で「SLOW」と書かれたボード)が掲げられ、ニュートラリゼーションが完了するまで維持される。**
- ③**全ての競技車両は先頭の車両の後ろに一直列縦隊を形成しなければならず、追越しは厳禁とされる。追越しは、深刻な問題により車両が減速する場合にのみ認められる。**
- ④**ニュートラリゼーションラップの間、先頭の車両は適切な速度にてペースをコントロールし、その他の全ての車両は隊列の間隔をできるだけ詰めて保たなければならない。**
- ⑤**車両はニュートラリゼーションの間に修理エリアに入ることができるが、マーシャルによる許可が出た時のみコースに復帰できる。コースに復帰した車両は、先頭車両に続く車両の隊列の最後尾につくまで適切な速度で走行しなければならない。**

次ページに続く↓

- ⑥ 競技長がニュートラリゼーションの終了を決定する時、「SLOW ボード」は維持され、黄旗は静止で掲示される。これが、次にスタートラインを超えたらレースが再開されることをドライバーに知らせるサインとなる。
- ⑦ この時、先頭の車両は適切な速度で走行を続ける。オフィシャルは、スタートライン上で緑旗の振動が掲示することによりレースの再開を合図する。予選ヒートまたは決勝ヒートのニュートラリゼーションが終了し、車両がスタートラインを超えるまで、追越しは禁止されたままである。スタートラインに接近した時、オフィシャルにより緑旗が振られていたら、ドライバーはスタートラインに先立つイエローラインを超えて初めて加速することができる。監視ポストの黄旗と「SLOW ボード」は下げられ代わりに緑旗が振られる。これらは最大で1周の間掲示される。
- ⑧ ニュートラリゼーションの間に成立した全てのラップはレースラップとしてカウントされる。
- ⑨ ニュートラリゼーションの間にレースが終了した場合、車両は通常どおりチェッカーフラッグを受ける。追越しは、深刻な問題によりカートが減速する場合にのみ認められる。
- ⑩ ニュートラリゼーションの運用の詳細については公式通知にて示す。